

# 『韓国社会の現在』

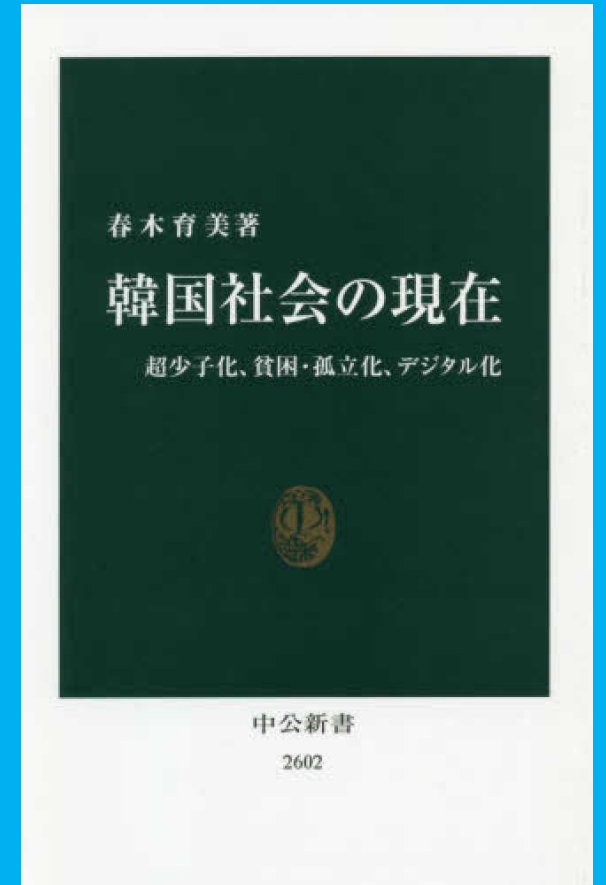
春木育美

(中公新書 2020年) 264ページ

220781181 水野伶皇

# 序章：この本で伝えたいこと

日本の近未来を映し出し、日本が選ばなかった道や方向性を指し示す韓国社会の現在を次の5つの視点から考察する。



## 5つの観点

- 1 : 少子高齢化
- 2 : 貧困・孤立化
- 3 : デジタル化
- 4 : 教育
- 5 : ジェンダー

# 1 章：少子高齢

2020年の時点で人口に占める65歳以上(高齢者)の割合は日本は28.9%、韓国は15.7%と日本の半数強だが、2065年には人口のほぼ2人に1人が高齢者である社会が到来すると見込まれている。

徴兵制がある韓国では軍隊で任務に就く年齢のピークである19~21歳の人口が2040年には2018年の半数になり、兵員は4割しか満たせなくなってしまう。



# 少子化が進んだ理由

- 妊娠可能な女性人口の減少と、未婚者の増加及び晩婚化。
- 韓国だけに見られるケースで、息子欲しさに妊娠した胎児が女児だと分かった瞬間に中絶する人が多く男女の比率がとてもアンバランスな出産が続いた。
- 結婚に対してネガティブなイメージが強い。
- 養育費や教育費がかかりすぎる。



# 少子化の対策

- 一定規模以上の企業に従業員のための保育施設の設置を義務付ける。
- 育児休業給付の大幅引き上げや育児休暇率を企業評価に反映させるなどして父親が育児に参加するようにした。



結局、育休の取りにくい雰囲気などによって少子化の対策にはならなかった

## 2章：貧困・孤立化

- 韓国は相対的貧困率43.7%でOECD加盟国36か国の中でトップである。さらに韓国では子供の教育費に財産をつぎ込み、老親の扶養に追われ、持ち家はおろか貯えもないまま老後を迎えた高齢者が多い。
- 既婚女性は家庭責任からパートなどの非正規雇用で働くことが多いため男女の賃金格差も大きいので国民年金未加入のまま高齢期に入った女性は生活の術がない。
- シルバーユーチューバーになりたがる人の増加。

# 対応策

- 中位所得下位70%に該当する65歳以上の高齢者には、月30万ウォンの基礎年金が支給される。
- 孤立や孤独死を防止するため、各地域の生活管理士は週2回ほど安否を尋ねる電話をかけ、一人暮らし世帯の安全確認に勤しんでいる。
- 弁当宅配サービスを手掛けることにより、弁当を届けつつ対面で健康状態を確かめることもできる。



# 3章：デジタル化

- キャッシュレス大国である韓国では2016年にすでにキャッシュレス決済が96.4%と突出して高く、世界最高水準

理由

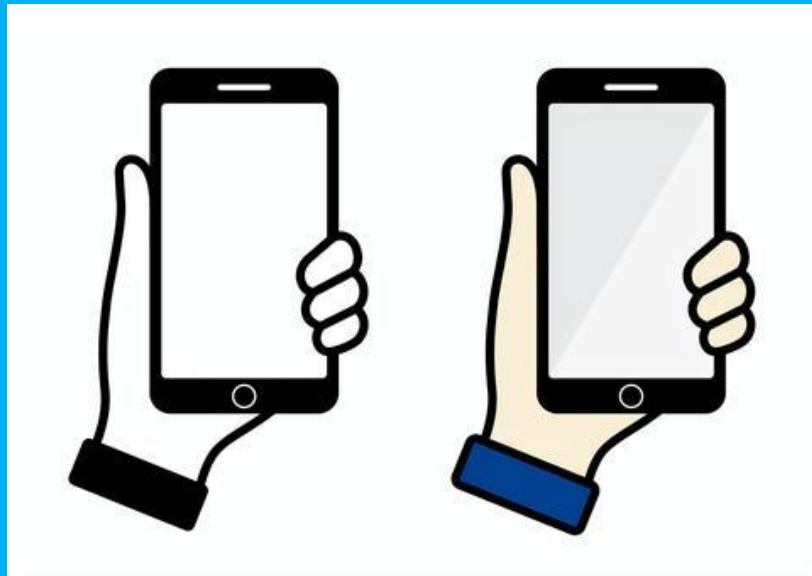
政府が国策として、クレジットカード決済を後押ししてきたからである。



# スマホ利用率

2018年の韓国のスマホの利用率は95%であり、韓国で使われている様々なスマホを利用した決済に大きな支障はない。

さらに、誰でもスマホを使いこなせるように老人施設や福祉施設などで高齢者を対象とした「シルバー・スマホ教育」によりスマホを利用したモバイル決済の利用率は右肩上がりである。



韓国は電子政府ランキングで世界トップクラスにあり、行政の効率化を支えているのはこの制度である。

住民登録番号によって顔写真や指紋、所得や学歴などのありとあらゆる個人情報にたどり着くことができる。

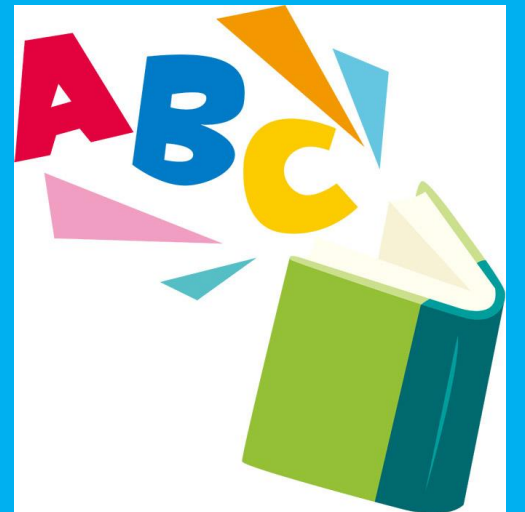
様々な制度改正を行っているにも関わらず、漏洩事件が起きているため、事件を防ぐための対策には限界がある！



今後は個人を特定できないように加工した「**仮名加工情報**」が活用可能となる。

# 4 章：教育

- 韓国には演劇映画学科というものがあり、1959年に初めて設置され2019年には4年生の一般大学だけでも約6割に演劇映画学科がある。
- 女子の大学進学率が男子の大学進学率を10%近く上回っており、近年の大学離れの傾向は主に男子学生に見られる。
- 英語にとっても力を入れている。



# 日本の教育と韓国教育

日本の子供の学歴に対する親の意識

子供の性別によって親の教育観が異なる



韓国の子供の学歴に対する親の意識

男児か女児かで4年制大学卒業への期待に大きな違いはなく、子供には高い学歴を求め、教育投資を惜しまない。

# 韓国の学歴に関する問題点

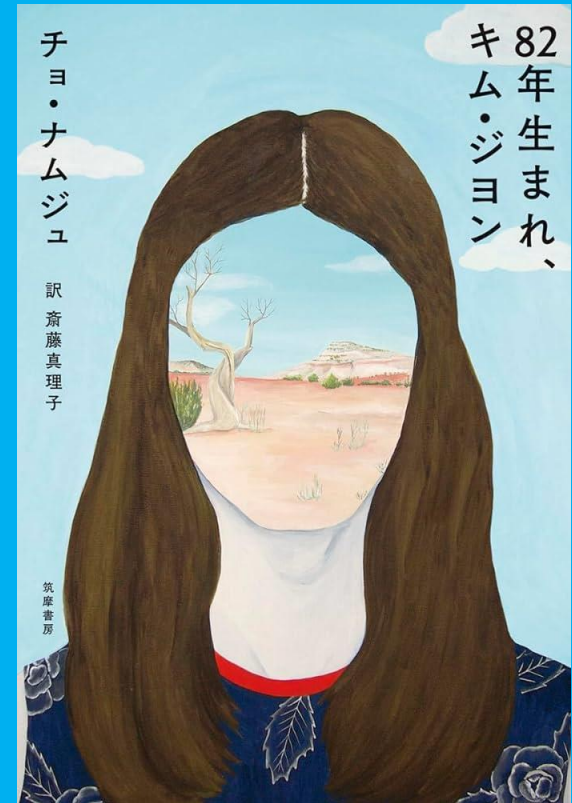
- 「**教育虐待**」と呼ばれる親が過度な期待を子に抱き、思い通りの結果がでないと子供に攻撃することがある。
- 韓国では一部の例外を除き一般的には大学受験しか選別試験がなく、親子ともに挫折経験が少ないため過度な期待が生まれてしまう。
- 国際化を急ぐあまり冷静さを欠き、期待を下回る結果がでた政策もあり。



これらが若者たちを追い詰めている

# 5章：ジェンダー

- ・「82年生まれ、キム・ジョン」という小説が韓国で100万部を超える大ヒット  
→ 韓国人女性の半生をフィクションで描いた作品だが、あまりのリアリティから多くの読者を得た。
- ・米国発祥の「#MeToo」運動が女性の人権問題として韓国では大いに盛り上がった。



# 韓国の学校教育

生徒の自主性や多様性を尊重すべきだという人権ムーブメントが巻き起こり学校教育の場が大きく様変わりしている。

→ これにより生徒への体罰の全面禁止であったり、頭髪の長さを規制するのを禁じていたりする条例ができた。

しかし、条例であるので、厳しい校則を維持したままの学校もあるが、条例が抑止力となり学校での体罰が格段に減った。



K-POPアイドルのように一般の女子高生も、ほっそりとした身体という美の基準に合わせて作られた制服に自分の身体を落とし込むことを日々強要されている。

これにより大統領が「女子高生の制服改善」を指示し、大統領自らが制服に関与するまで、身体を拘束する制服が人権問題化し、政治的イシューとなった。

# 終わりに：結論

本書では深刻な少子化の原因となっている現状を考察し、これから起きるかつてない人口変動を展望した。

筆者は今の10代や20代が社会の中核を担うようになる頃に、日本と韓国が互いに知恵を出し合い、共通の社会的課題に立ち向かう協力関係を形成して欲しいと願っており、未来のために打ち出せる政策とは何か、遺産として若い世代に何を残すべきで、何を残すべきではないかを考えるのは大人の責務である。

# 参考文献

画像使用

<https://jetb.co.jp/14173>

[https://www.ac-illust.com/main/search\\_result.php?word=%E3%83%8D%E3%82%AC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%96](https://www.ac-illust.com/main/search_result.php?word=%E3%83%8D%E3%82%AC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%96)

[https://www.konest.com/contents/basic\\_info\\_detail.html?id=5100&mobile](https://www.konest.com/contents/basic_info_detail.html?id=5100&mobile)

<https://publicdomainq.net/english-book-0020654/>

<https://www.elle.com/jp/culture/g42696646/babymonster-new-yg-group-230214/>

<https://www.neko-kara.com/entry/2022/06/06/200135>